

# 茨木市立耳原小学校 学力向上ステップアップ計画

平成24年3月作成

## 1 学力向上ステップアッププラン1年目（H23年度）について

### 1. 児童の状況 成果と課題

#### （1）学習事項の定着(学力)について

本年度の大阪府学力・学習状況調査の結果は、国語・算数ともに大阪府の平均を下回り、学習事項の定着には全般に大きな課題がある。

##### 【国語】

- ・領域・観点ともに、特に「読む力」が低く、内容の理解に乏しい。「読解力」に課題がある。
- ・文章表現力が弱い。要約する、考えたことや情報をまとめるということに課題がある。
- ・他者意識をもって自分の考えを話す力(伝える力)が弱い。話の組立てを工夫できていない。
- ・語彙が少ない。

##### 【算数】

- ・基礎的な計算力の定着に課題がある。
- ・自分で考えて問題を解く力が弱い。

#### （2）ゆめ力・学び力・自分力・つながり力の育成について（…成果 …課題）

##### 【ゆめ力】

「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と肯定的に解答した児童の割合が高かった。

将来について具体的に考えることは少なく、なんとかなると安易に考えがちな児童が多い。

##### 【自分力】

「学習ルール」、月ごとの生活目標、生活アップ推進週間の取組みなどとおして、宿題、学習用具の用意、チャイム着席などが改善されてきた。

「自分には良いところがあると思う」と肯定的に回答した児童の割合が低く、自尊心の低さが窺える。

##### 【つながり力】

「友だちとの約束を守る」「いじめはどんなことがあってもいけない」と肯定的に回答している児童は100%に近く、意識の高さが窺える。

「近所の人に会った時はあいさつをしている」と答えた児童の割合は高かったが、自分から元気にあいさつすることは課題である。

言葉が乱暴である。

##### 【学び力】

「家で宿題をしている」「家で自分で計画を立てて勉強している」と肯定的に回答した児童の割合が高くなり、成果が見える。

日々の学習(授業)の流れをパターン化することにより、自分で見通しを立てて時間配分できるようになってきた。

授業の振り返りを簡単に文章化することができるようになってきた。

「難しい」と思ったら、すぐにあきらめてしまう傾向がある。

##### 【体力】

本校の児童は、体を動かすことが好きで、休み時間には外へ出て、元気に遊ぶ様子が見られる。

「5分間走」や「なわとび」等、冬の体力づくりの取り組みにも積極的に参加し、自分の記録を伸ばそうと、日々努力する姿勢が見られた。

体力アップアンケートの結果から、「体育の時間がすきだ」と答えた児童は全体の81%を占め、「休み時間は外で元気に遊べた」と答えた児童は67%と、体を動かすことが好きだということがわかる。

## 2. 学校の組織 成果と課題

### 組織的な取組みについて

#### 《成果》

##### 「学習事項の定着」「学び力」の向上について

- ・全学年で日々計算習熟プリントに取り組み、計算ミスを減らし、基礎計算力の定着を目指した。
- ・放課後学習教室での宿題の取り組みにより、宿題忘れを減らし、学習習慣の定着につなげた。
- ・学習のめあてを明確にすることで、目標を持って活動できるようになってきた。
- ・校内全体で取り組んできた学習の決まりが守られてきた。「学習ルール」の徹底により、チャイム着席、筆箱の中身、姿勢、返事のしかた等に変化が見られるようになってきた。
- ・「全員発声、全員思考」の授業づくりを目指した結果、児童の言語活動が増えてきた。あらゆる教科での一斉音読の習慣により、音読による「読解」を促している。
- ・丁寧なノート指導により、ノートをきちんと書くことが当たり前になってきた。文字が丁寧に書ける子どもが増えてきた。
- ・支援教育の視点にたった授業づくり、教室環境の整備をすすめた。

##### 「ゆめ力」「つながり力」「自分力」「体力」の向上について

- ・校内作品展、文化発表会の取り組みにより、異学年からの刺激を受け同学年間のつながりも深まった。自尊感情を高めることにもつながった。(自分力・つながり力)
- ・きょうだい学年交流により、高学年は、低学年から尊敬や感謝され、また教師からも褒められることで、年々低くなりつつある自尊心を高めることができた。(自分力・つながり力)
- ・あいさつキャンペーン、そうじキャンペーンに取り組んだ。(つながり力・自分力)
- ・全学年でキャリア教育の取り組みを始めた。(ゆめ力)
- ・子どもは風の子プロジェクトで、「冬の体力づくり」として5分間走と、10分間縄跳びに取り組み、体力向上を図った。(体力)

#### 《課題》

##### 「学習事項の定着」「学び力」の向上について

- ・基礎学力の定着が難しく、学年が上がるごとに算数の苦手意識が強くなっている。
- ・自分の意見をうまく伝えられないため、発表、発言に自信が持てない。
- ・自分で考えず、ただ板書を写すだけになってしまう傾向がある。
- ・家庭学習の時間が少なく、学習の定着が難しい。

##### 「ゆめ力」「つながり力」「自分力」「体力」の向上について

- ・自尊心が低く、将来に希望がもてない。
- ・互いを認め、高めあうことが難しい。
- ・自分から挨拶できない。
- ・言葉づかいが乱暴になりがちである。

## 2 3年間（H23～25年度）の取組について

### 1. 3年間の重点課題

重点課題	意欲的に学習し、基礎基本の学力を身につける 将来の生き方を考え、毎日根気よく学習する習慣を身に付ける 人と力を合わせて活動する力をつける	
具体的 課題  ( ) 検証軸	学習事項の定着	基礎基本の学力を身につける（あ） 全国学力調査の正答率 40%以下の児童の割合を減らす（い） 全国学力調査の無解答率を減らす（う） 自分で考えたことを表現する(書く・話す)力をつける（え）
	学び力	家庭学習の習慣をつける（お） 家庭学習の学習時間を増やす（か） 学習に意欲的に取り組む（き） 自分で課題を立てて、自主勉強する力を伸ばす（く） 国語や算数の学習が好きだと思える子どもを増やす（け）
	つながり力	協力して活動する力をつける（こ） あいさつができる子を増やす（さ）
	自分力	ものごとを成し遂げる達成感を感じさせる（し） 自尊感情を高める（す） 基本的な生活習慣（早寝・家庭学習・学習準備等）を身につける（せ） 学校生活のきまりや学習ルールを守る（そ） 掃除や当番活動に責任を持つ（た）
	ゆめ力	将来の夢や仕事、目標を持たせる（ち）
	体力向上	毎日運動する子を増やす（つ） 「運動することが好き」という子を増やす（て）

### 2. 検証軸と到達目標

#### 学習事項の定着

検証番号	数値目標
あ	全国学力調査の平均正答率を上げる
い	全国学力調査の正答率 40%以下の児童の割合を減らす
う	全国学力調査の無解答率を減らす

## 育みたい4つの力

全国学力・学習状況調査(児童質問紙)の以下の質問項目に対する肯定的回答の割合を増やす。

育みたい4つの力		検証番号	質問項目	
学び力	意欲的に学ぶ力	お・か	16	授業時間以外に、1日あたりどれぐらいの時間勉強するか
		く	25	家で自分で計画を立てて勉強しているか
		お	26	家で学校の宿題をしているか
		え・き	49	授業では、ノートを丁寧に書いているか
		え	51	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思うか
		け	52	国語の勉強は好きか
		け	56	算数の勉強は好きか
自分力	・自尊感情 ・基本的な生活習慣 ・規範意識をもち、何事にも一生懸命取り組める力	せ	2	学校に持って行く物を、前日かその日の朝に確かめているか
		せ	3	毎日同じぐらいの時刻に寝ているか
		し	5	ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか
		す	7	自分にはよいところがあると思う
		せ	12	1日あたりどのくらいテレビやビデオ・DVDを見るか
		そ	36	学校のきまりを守っているか
ゆめ力	・将来展望を持ち努力する力	ち	8	将来の夢や目標を持っているか
		ち	42	人の役に立つ人間になりたいと思うか
つながり力	・人とより良い関係を築く力 ・人と力を合わせて活動する力	こ	38	人が困っている時は、進んで助けているか
		さ	39	近所の人に会った時は、あいさつをしているか
		こ	42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか

## 体力向上

以下の質問項目についてアンケートを実施し、肯定的回答の割合を増やす。

つ	休み時間は外で元気に遊べた。
て	体育の時間が好きだ。

## その他、以下のテストや調査を検証軸として、実態把握と数値検証を行なう

各学年の学期末「まとめのテスト」(市販)の結果

学校教育診断 「学校教育アンケート」児童用・保護者用

生活アップ推進週間「生活チェック」の結果

### 3. 3年間の取組計画

2年目の取組み（3年目は見直しの上、取組みをすすめる）

#### 学習事項の定着・学び力の育成にむけて

	重点内容	リード組織
1	基礎基本の定着にむけて ・国語・・・言語力・読解力をつける(漢字指導・言語活動の充実) ・算数・・・計算力をつける(反復学習 授業・宿題・朝の学習)	教科部
2	子ども主体の授業づくり ・問題解決型の授業 ・全員発声・全員思考	教科部
3	ノート指導の充実 ・わかりやすいノートづくり 基本的な学習習慣・学習意欲 ・自分の考えを書く 考える力をつける ・調べたことをまとめる 資料の読み取り、活用、表現力をつける	教科部
4	個に応じた指導の充実 ・習熟度別指導の充実 (算数) ・放課後学習教室 学習補充	教科部
5	学習ルールの徹底 ・耳原スタンダードの充実	教科部 支援教育部
6	学習環境づくり ・支援の視点にたった教室環境の整備 ・情報教育の環境整備	支援教育部 情報教育部 学校事務部
7	家庭学習の習慣・充実 ・宿題の工夫 ・保護者協力	教科部 生活指導部
8	朝の学習時間の有効利用 ・読書・計算・漢字・視写など	教科部
9	読書活動の活性化・読書週間の取組み	図書指導部
10	授業研究推進(研究授業・校内研修会等) 全ての子どもにわかる授業づくり(ICT活用、視覚教材)	教科部 支援教育部 情報教育部

#### 自分力の育成に向けて

	重点内容	リード組織
1	自尊感情の醸成 ・いのちの学習 ・文化発表会 校内作品展等 ・きょうだい学年交流(児童会活動)	人権教育部 児童会指導部

2	基本的な生活習慣の向上 ・生活アップ推進週間（生活自己チェック・保護者啓発） 重点：早寝・家庭学習・学習準備・テレビやゲームの時間を減らす） ・登校支援	生活指導部 児童支援担当
3	生活のきまり・学習ルールの徹底	生活指導部 教科部
4	清掃活動 ～掃除キャンペーンの実施～	生活指導部
5	児童会活動（募金活動・応援団・委員会活動等） 責任感と行動力育成	児童会指導部

### つながり力の育成

	重点内容	リード組織
1	集団づくりプログラムの実施 ～ピアサポート・いじめ防止プログラム・ソーシャルスキル等～	人権教育部 支援教育部
2	あいさつ運動 ～あいさつ推進キャンペーンの実施～	生活指導部 児童会指導部
3	学校行事(運動会・文化発表会) 児童会行事・きょうだい学年の取組み	人権教育部 児童会指導部 体育指導部

### ゆめ力の育成

	重点内容	リード組織
1	キャリア教育の充実	人権教育部
2	道徳教育をとおして社会性をそだてる	人権教育部

### 体力向上

	重点内容	リード組織
1	「こどもは風の子」プロジェクト・体力づくり週間の実施	体育指導部
2	体育授業で継続的な活動を位置づけ取り組む (いばらきっ子運動・なわとび・マラソンなど)	体育指導部
3	「毎日運動」月間の実施	体育指導部

## 4. 推進体制

